

2004年3月期中間決算  
および  
通期業績見通し

代表取締役社長 藤沼彰久

**NRI** 野村総合研究所

2003年10月31日

# 中間決算ハイライト（連結）

（百万円）

	2003年3月期中間	2004年3月期中間	
			増減率
売上高	113,774	113,309 (113,300)	<b>0.4%</b> (+ 0.0%)
営業利益	13,178	12,106 (12,100)	<b>8.1%</b> (+ 0.0%)
経常利益	13,334	12,449 (12,400)	<b>6.6%</b> (+ 0.4%)
中間純利益	7,897	7,891 (7,800)	<b>0.1%</b> (+ 1.2%)
営業利益率	11.6%	10.7% (10.7%)	<b>0.9P</b>

（注）カッコ内は、2003年10月10日発表の業績見通し（最新予想）および実績との乖離率

# 当初予想との比較

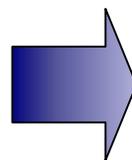
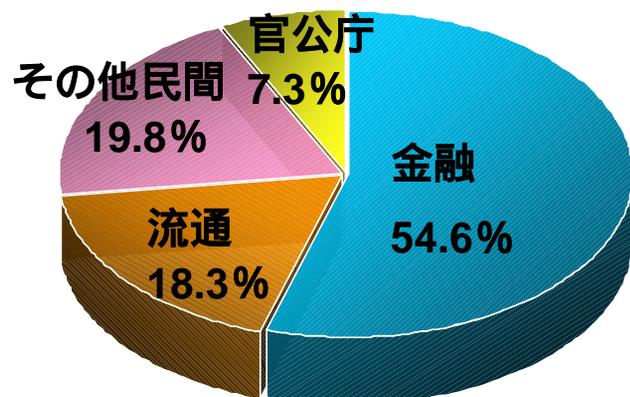
(億円)

(連結)	当初予想	実績	差分
売上高	1,120	1,133	+13 (+ 1.2%)
営業利益	110	121	+11 (+10.1%)
経常利益	111	124	+13 (+12.2%)
中間純利益	62	78	+16 (+27.3%)

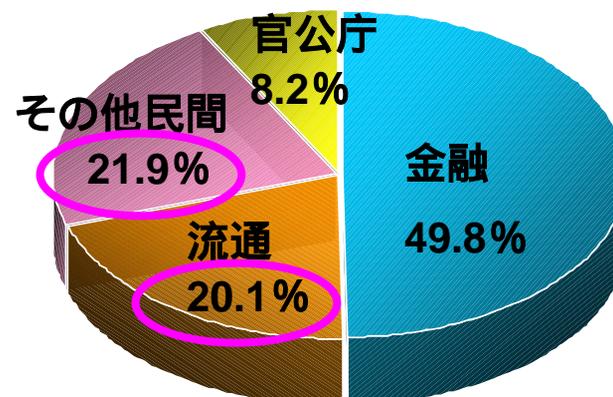
(注)当初予想は、2003年4月28日発表の業績見通し

# 業種別売上高（連結）

2003年3月期中間



2004年3月期中間



(百万円)

	2003年3月期中間		2004年3月期中間		増 減	
		構成比		構成比		増減率
金 融	62,152	54.6%	56,403	49.8%	5,749	9.3%
流 通	20,808	18.3%	22,776	20.1%	1,967	9.5%
そ の 他 民 間	22,491	19.8%	24,848	21.9%	2,356	10.5%
官 公 庁	8,320	7.3%	9,281	8.2%	960	11.5%
合 計	113,774	100.0%	113,309	100.0%	465	0.4%

# 品目別売上高（連結）

（百万円）

	2003年3月期中間		2004年3月期中間		
		構成比		構成比	増減率
開発・製品販売	39,656	34.9%	35,554	31.4%	10.3%
運用処理	44,814	39.4%	45,685	40.3%	1.9%
商品販売等	10,482	9.2%	10,850	9.6%	3.5%
システムソリューション	94,954	83.5%	92,089	81.3%	3.0%
コンサルティング・ナレッジ	18,820	16.5%	21,219	18.7%	12.7%
合 計	113,774	100.0%	113,309	100.0%	0.4%

# キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

	2003年3月期中間	2004年3月期中間	
			増 減
現金及び現金同等物の 期首残高	95,203	88,760	6,442
営業活動によるCF	891	8,019	7,128
投資活動によるCF	14,109	5,481	8,627
フリー・キャッシュフロー	13,218	2,537	15,755
財務活動によるCF	1,198	1,201	2
現金及び現金同等物に 係る換算差額	421	449	27
現金及び現金同等物の 中間期末残高	80,364	89,646	9,281

# 今期重点施策の 進捗報告

## 売上高2,450億円・営業利益280億円達成に向けて

### 増収増益への施策

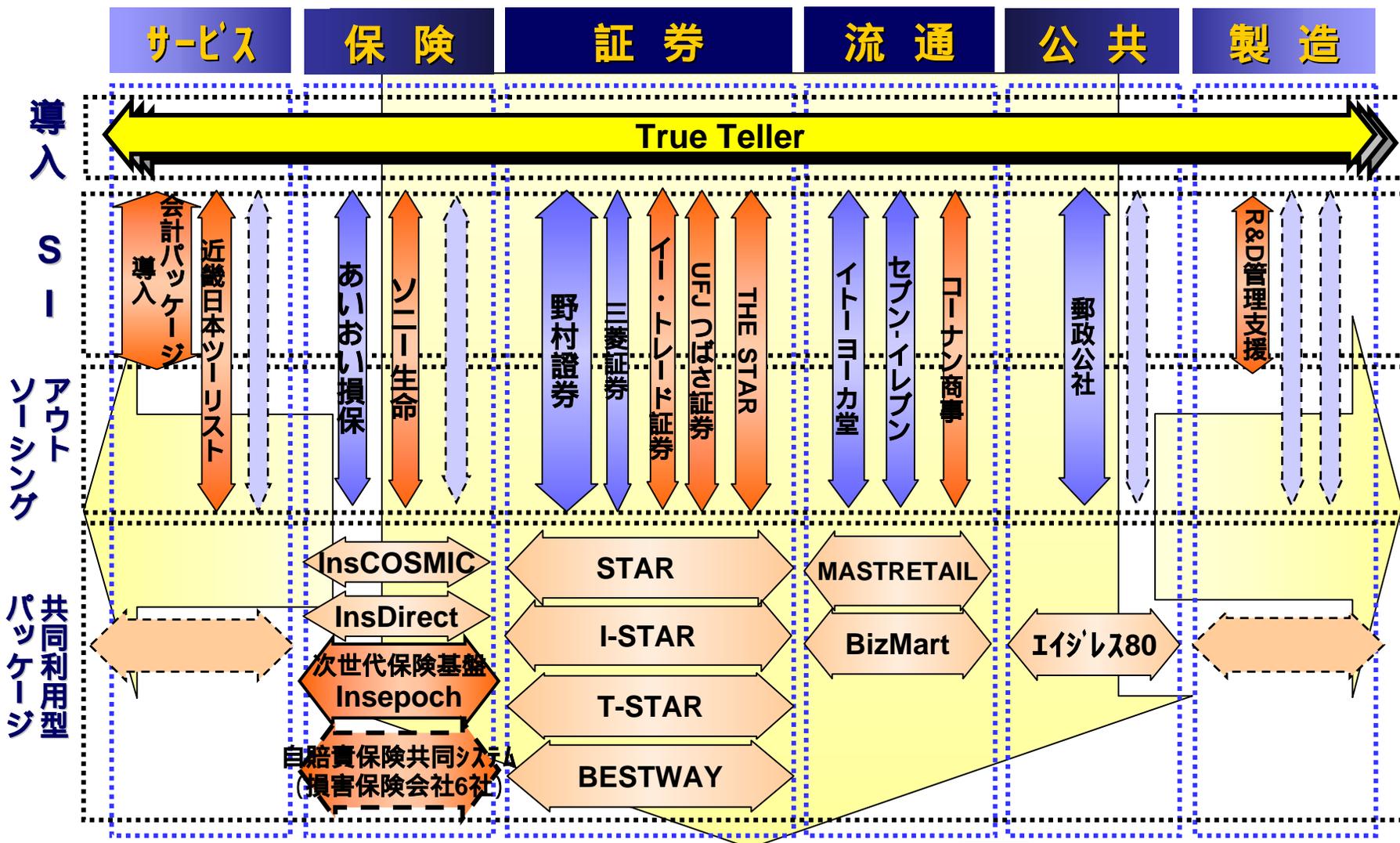
#### 売上アップ

- (1)新規顧客開拓
  - ソリューション開発の拡大
  - 導入商品による開拓
- (2)SI競争力の強化
  - 注力分野への取り組み

#### コスト管理

- (1)外注費削減
  - eパートナーの推進（5社）
  - 中国活用の加速
- (2)人件費増の抑制
  - 人員数のコントロール

# (1) 新規顧客開拓：ソリューション開発の拡大



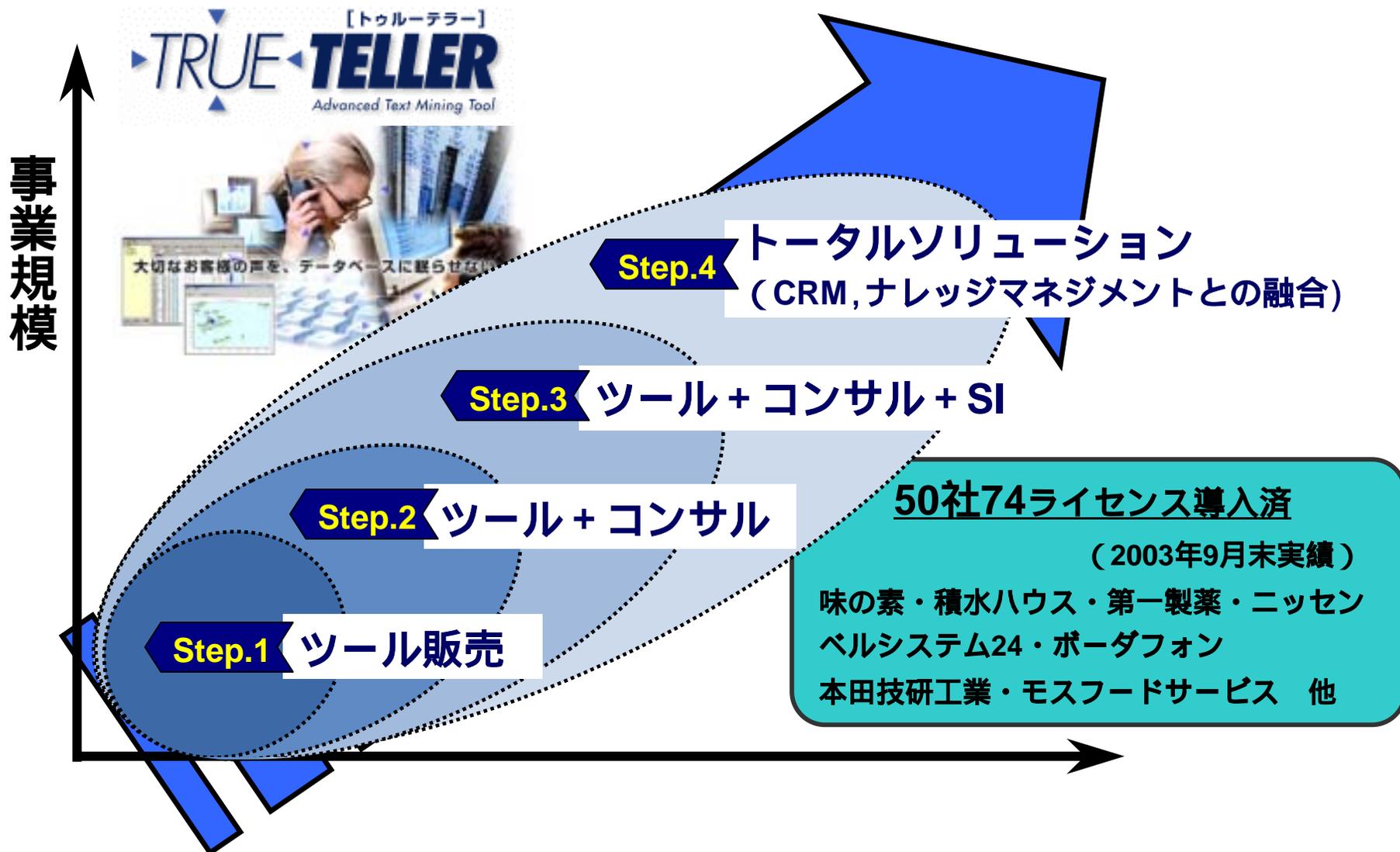
(注) 『証券』には、資産運用会社等も含む

■ 当期取り組みの成果 or 当期発表

この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

Copyright(C) Nomura Research Institute, Ltd.

# (1) 新規顧客開拓：導入商品による新規顧客開拓



## 保険

### ソニー生命

～ 新セールス・プロセス・マネジメントシステム構築 ～

- セールスの各プロセスの実践状況にフォーカス
- NRI製品「オブジェクトワークスfor.NET」を採用

### 自賠責保険共同システム「e-JIBAI」

➢ 損保6社による共同システム

- ・ あいおい損害保険
- ・ 東京海上
- ・ 損保ジャパン
- ・ 三井住友海上
- ・ 日本興亜損保
- ・ ニッセイ同和

➢ NRI、日立製作所と提携

2004年度下期運用開始を目指す

**ソニー生命**  
**営業職員の管理支援**  
**野村総研とシステム開発**

ソニー生命保険は、野村総研と共同で、同社の営業職員の活動を支援するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。

ソニー生命保険は、野村総研と共同で、同社の営業職員の活動を支援するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。

2003年9月5日 日経金融新聞

**自賠責を共同運用**  
損保6社、来年度下期から

あいち損害保険、東京海上、損保ジャパン、三井住友海上、日本興亜損保、ニッセイ同和の6社が、自賠責保険の共同運用システム「e-JIBAI」を開発し、2004年度下期から運用を開始する。このシステムは、顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。顧客の家族構成などを把握し、保険料や商品などを提案するシステムを開発した。

2003年8月21日 日刊工業新聞

## (2) SI競争力の強化：注力分野への取り組み成果

### サービス業

#### 近畿日本ツーリスト

～ 会計情報システム構築 ～

開発費約18億円

コスト削減効果5億円 / 年

- ▶ 全国の約400営業拠点の販売情報を日次で集計・分析
- ▶ 個別マーケティングのための情報共有

近畿日本ツーリストは来年1月からの会計情報システムを構築する。全国の営業拠点は約400ヶ所の販売情報を本社が日次で集計・分析できる。集計では日次ペースでの集計にこだわっていた。また個別マーケティングを実施するための情報共有もこの本社が実現でき、営業を効率化できる。

### 近畿日本ツーリスト 販売情報日次で収集

顧客データ 本社・営業店が共有

#### 野村総研に運用委託

野村総研は野村総合研究所の経営企画部が本社で開発した新システムを運用委託する。本社は7月開始予定。従来の集計は月次ペースでの集計にこだわっていた。また個別マーケティングを実施するための情報共有もこの本社が実現でき、営業を効率化できる。

野村総研は野村総合研究所の経営企画部が本社で開発した新システムを運用委託する。本社は7月開始予定。従来の集計は月次ペースでの集計にこだわっていた。また個別マーケティングを実施するための情報共有もこの本社が実現でき、営業を効率化できる。

2003年10月8日 日経産業新聞

## 売上高2,450億円・営業利益280億円達成に向けて

### 増収増益への施策

#### 売上アップ

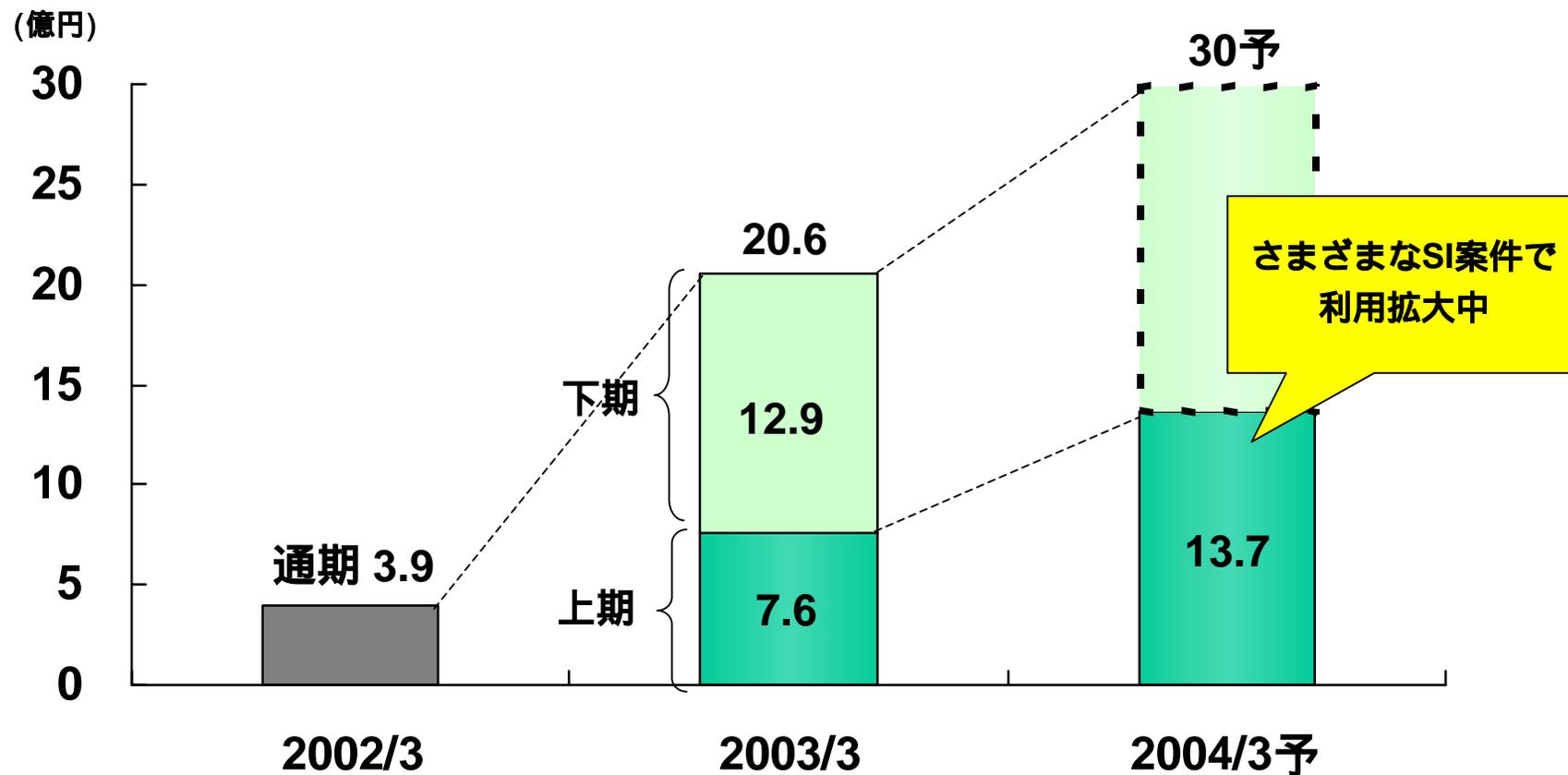
- (1)新規顧客開拓
  - ソリューション開発の拡大
  - 導入商品による開拓
- (2)SI競争力の強化
  - 注力分野への取り組み

#### コスト管理

- (1)外注費削減
  - eパートナーの推進（5社）
  - 中国活用の加速
- (2)人件費増の抑制
  - 人員数のコントロール

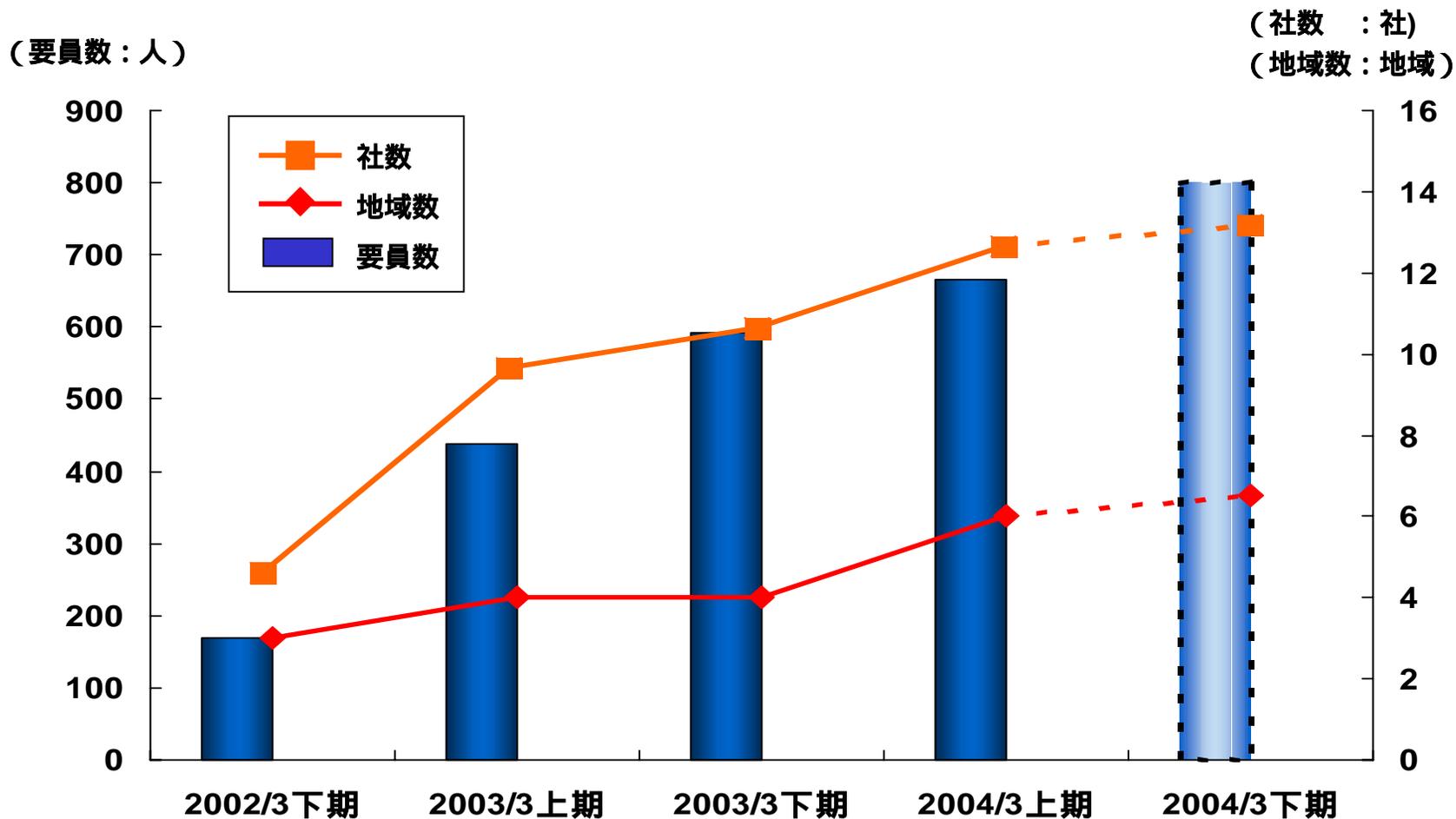
# (1) 外注費削減：中国活用の加速

## ➤ 中国オフショア開発への発注額推移



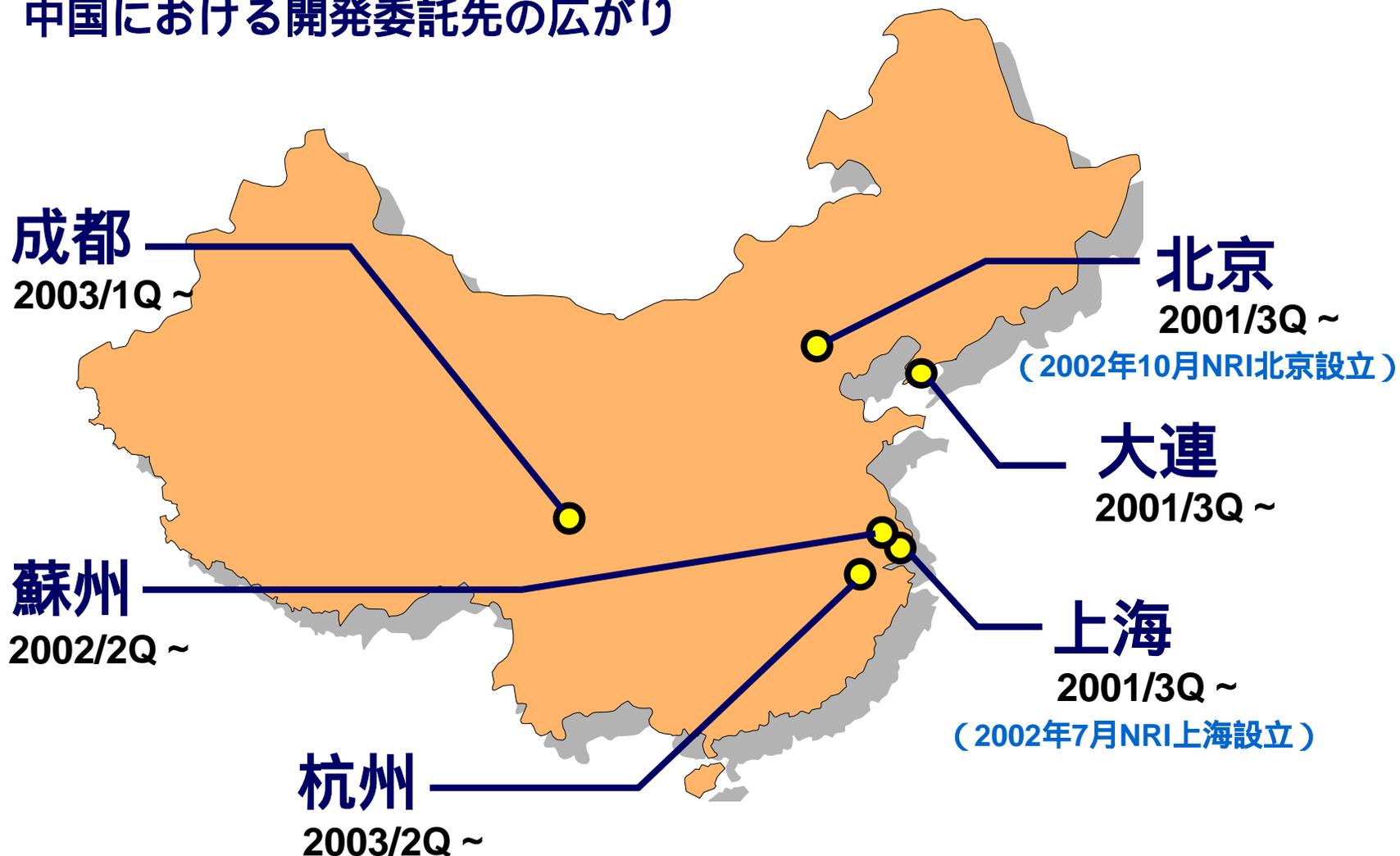
# (1) 外注費削減：中国活用の加速

## ➤ 要員数・社数・地域数

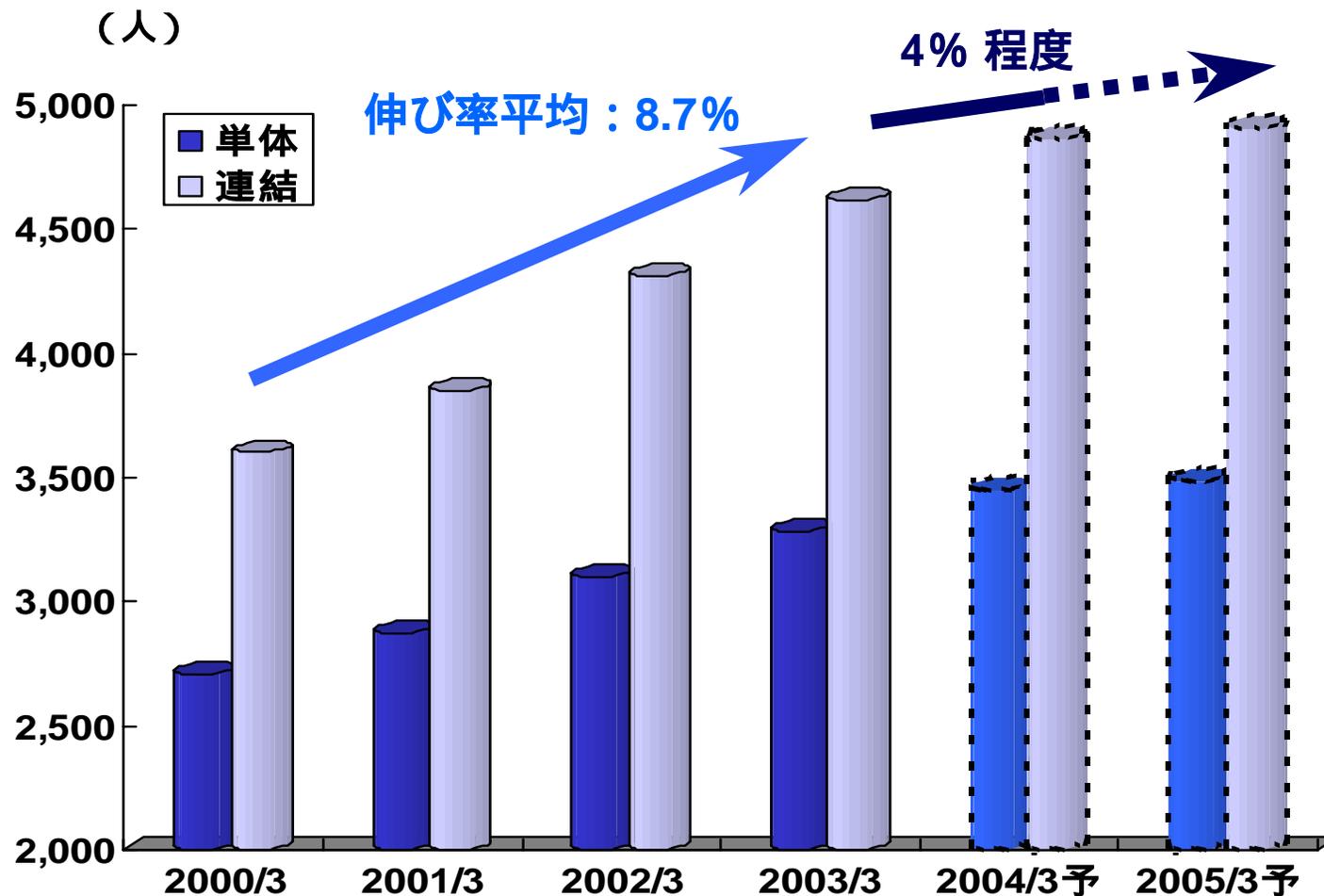


# (1) 外注費削減：中国活用の加速

## ➤ 中国における開発委託先の広がり



## (2) 人件費増の抑制：人員数コントロール



**2004年3月期  
通期業績見通し**

# 2004年3月期通期業績予想（連結）

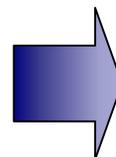
## 通期予想ハイライト

（億円）

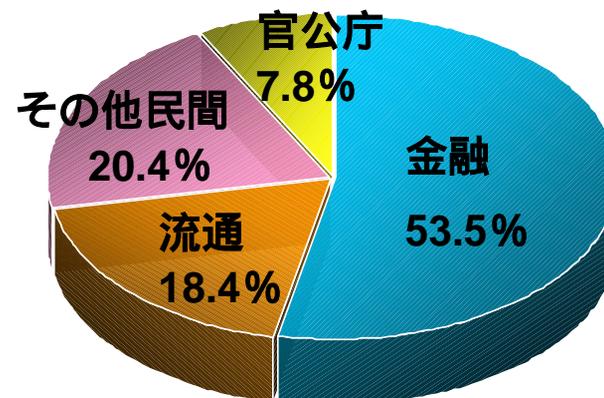
	2003年3月期（実績）	2004年3月期（予想）	
			増減率
売上高	2,327	2,450	5.3%
営業利益	271	280	3.1%
経常利益	276	284	2.8%
当期純利益	154	160	3.5%
営業利益率	11.7%	11.4%	0.2P
E P S	¥337.26	¥349.27	3.6%

# 2004年3月期業種別売上予想（連結）

2003年3月期



2004年3月期(予想)



(億円)

	2003年3月期（実績）		2004年3月期通期（予想）		
		構成比		構成比	増減率
金融	1,252	53.8%	1,310	53.5%	4.6%
流通	416	17.9%	450	18.4%	7.9%
その他民間	471	20.3%	500	20.4%	6.1%
官公庁	186	8.0%	190	7.8%	1.9%
合計	2,327	100.0%	2,450	100.0%	5.3%

# 2004年3月期品目別売上予想（連結）

(億円)

	2003年3月期（実績）		2004年3月期通期（予想）		
		構成比		構成比	増減率
開発・製品販売	830	35.7%	890	36.3%	7.1%
運用処理	902	38.8%	930	38.0%	3.1%
商品販売等	211	9.1%	210	8.6%	0.9%
システムソリューション	1,944	83.6%	2,030	82.9%	4.4%
コンサルティング・ナレッジ	382	16.4%	420	17.1%	9.7%
合計	2,327	100.0%	2,450	100.0%	5.3%

# 受注残高（連結）

（百万円）

	2002年9月末	2003年9月末		
			増減額	増減率
開発・製品販売	12,912	18,872	5,959	46.2%
運用処理	42,257	41,840	417	1.0%
商品販売		1,440	1,440	
システムソリューション	55,170	62,153	6,982	12.7%
コンサルティング・ナレッジ	12,077	12,069	8	0.1%
合 計	67,248	74,222	6,974	10.4%

(注) 売上計上は進行基準を採用

# 2004年3月期の収支モデル（連結）

## 売上高2,450億円・営業利益280億円の収支モデル

(億円)

	2003年3月期中間	2004年3月期中間		2004年3月期	
	(モデル値)	(モデル値)	前年差	(モデル値)	前年差
売上高	1,137	1,133	4	2,450 (2,450)	+123
売上原価	850	850	-	1,835 (1,830)	+100
外注費	360	330	30	715 (715)	30
人件費	210	210	-	430 (445)	+10
減価償却費	55	60	+5	190 (190)	+65
その他	225	250	+25	500 (480)	+55
売上総利益	287	283	4	615 (620)	+23
粗利率	25.2%	25.0%	0.2P	25.1% (25.3)	0.3P
販管費	160	160	-	335 (340)	+15
営業利益	131	121	10	280 (280)	+8
営業利益率	11.6%	10.7%	0.9P	11.4% (11.4)	0.3P

(注) 全ての数値は、収支モデル作成のための連結想定値。カッコ内は前回（4月28日）のモデル値

・本資料は、2004年3月期中間決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。